

令和5年度 平田村立ひらた清風中学校
学力向上グランドデザイン

《教育目標》
未来に向かって力強く前進する生徒

《平田村教育指針》

- ◎人を愛し、故郷を愛し、「生きる力」を身につけた健康でたくましい人間の育成
- ◎小中一貫教育で確かな学力の保障

《生徒の実態》

本校生徒の多くは素直に教師の指示を受け入れ、授業や家庭学習に真摯な態度で取り組んでおり、主体的に学ぼうとしたり、問題を解決しようとしたりする意欲を示す生徒が増えてきた。しかし、「主体的に学び、考える力」を育むために不可欠な、基礎的・基本的な知識・技能の習得が十分でない生徒も多くおり、「学力の二極化」は本校の大きな課題となっている。また、自分の思いや考えを他者に伝えることに自信が持てない生徒や、他者に対し、自分の考えを一方向的に押し付ける生徒が見られるなど、コミュニケーション能力の低さも課題である。

具体目標



《めざす生徒像》

- ・自分の考えをもち、目標に向かって本気で学ぶ生徒
- ・健康に関心をもち、進んで心身を鍛える生徒
- ・互いに尊重し合い、よりよい人間関係を築き、ともに高め合う生徒

《これまでの研究成果と課題から》

本校ではこれまでも、授業での「学び合い」活動に取り組んできた。学習アンケートや生徒の実態から、授業における学習意欲の向上が大きくみられた。一方で、生徒の主体的な学びを促す課題設定や、授業の終末である振り返りやまとめの工夫については改善が必要である。「学力の二極化」を解消するためにも、すべての生徒が主体的に学習に取り組めるような課題の設定や、自分の課題を客観的に捉え、自己マネジメント力を高めながら家庭学習に取り組めるような、まとめ・振り返りをする必要があると考える。

学力向上のための具体策

本校の実態、めざす生徒像をふまえ、〈①知識及び技能の習得・②思考力、判断力、表現力の育成・③学びに向かう力、人間性等の涵養〉の実現を目指す取組

5-1-4

I 主体的な学習態度の育成 (③)	II 基礎・基本の徹底習得 (①)	III 「学び合い」による思考力・判断力・表現力等の育成 (②)	IV 個別指導の充実 (①②③)	V 現職教育の推進と充実 (①②③)
<input type="checkbox"/> 学習に関するガイダンス機能の充実 ・「学習の手引き」の活用 ・「授業の約束八カ条」の設定 <input type="checkbox"/> 家庭学習の充実 ・「家庭学習スタンダード」の積極的活用 ・人目に触れるノート作り (生徒・教師によるコメント記入) <input type="checkbox"/> 授業外の学び合い「寺子屋・清風」の実施	<input type="checkbox"/> 朝学習「清風プロジェクト(Sプロ)」の実施 ・徹底反復学習の継続 ・類似問題に複数回取り組む学習 ・時間計測による集中力の向上 <input type="checkbox"/> 5教科「清風コンテスト(Sコン)」の実施 ・各教科の基礎・基本の洗い出し ・学習意欲の向上と基礎学力の定着 ・合格者・満点者への表彰による賞賛	<input type="checkbox"/> 授業における「学び合い」の場の設定と実践の継続 ・授業の質的改善 ・各教科1回以上の検証授業の実施 ・日常的な互見授業実践による検証 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力の育成 ・よりよい人間関係を築く学級経営 ・「Q-U」の有効活用	<input type="checkbox"/> 放課後、長期休業等の個別指導の充実 ・個に応じた学習課題の提示、個別支援 ・サポートティーチャー事業の有効活用 ・進路実現に向けた補充学習 <input type="checkbox"/> 特別な支援が必要な生徒への指導充実 ・支援体制の充実 →カリキュラムの工夫、TTの工夫、習熟度別学習、支援員との連携等 ・個別の教育支援計画の作成	<input type="checkbox"/> 指導力向上のための研修会の充実 ・ふくしまの「授業スタンダード」の活用 ・先進校視察等 <input type="checkbox"/> 校内研修の充実 ・パイオニア授業の実施 ・教員のニーズに合わせた研修会の実施 <input type="checkbox"/> 小・中連携による指導力の向上 ・交流授業 ・授業参観

現職教育テーマ

《研究主題》生徒同士が学び合い、高め合う授業づくり

《研究副主題》「個別最適な学び」と「協働的な学び」の観点からの授業改善

[研究仮説] 各教科の授業において、右のような「手だて」を意識した「学び合い」を取り入れれば、生徒たちは互いの関わりの中で学びを磨き合い、高め合いながら確かな学力を身につけていくであろう。

【手だて①】「協働的な学び」へつながる学習課題の工夫
【手だて②】「個別最適な学び」をつなぐまとめ・振り返りの工夫

《教科テーマ》

国語科	社会科	数学科	理科	英語科
思いや考えを伝え合う力を身に付けさせるための言語活動の工夫	互いの考えを伝え合うことで、多目的・多面的に考察する力を高める授業の工夫	問題解決の過程においてどのような数学的な見方・考え方を働かせたかを振り返り、「何ができるようになったのか」を明確にして、新たな学びを引き出す工夫	科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する単元構想の工夫	情報や自分の考えなどを形成・再構築し、伝え合うための指導過程の工夫
音楽科	美術科	保健体育科	技術・家庭科(技術分野)	技術・家庭科(家庭分野)
生活や社会の中の音楽と豊かに関わるための資質・能力を育成する指導の工夫	造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の工夫	基礎的な技能や知識を活用して、自ら運動や健康における課題解決、実践力の定着を図る指導の工夫	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の工夫	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の工夫

評価の視点

- 各種テスト・検査・調査等の実施と分析
- ふくしま活用力育成シートの活用
- 教師相互による評価(授業研究会、互見授業等)
- 学期ごとの教育課程の反省
- 家庭学習の充実
- 保護者対象の「学校評価アンケート」の結果分析
- 生徒対象の「学習に関するアンケート」の結果分析
- 学校評議員からの意見等